

後期高齢者フレイル状態全数調査を実施しました

安来市内後期高齢者を対象に「基本チェックリスト」を配布。フレイル早期発見システム「ASTERⅡ」や「フレイル予防管理システム」により、回答者のフレイル状態早期発見や社会資源の情報提供、フレイル予防事業の拡充へと繋げていくことを目的とし、実施しました。

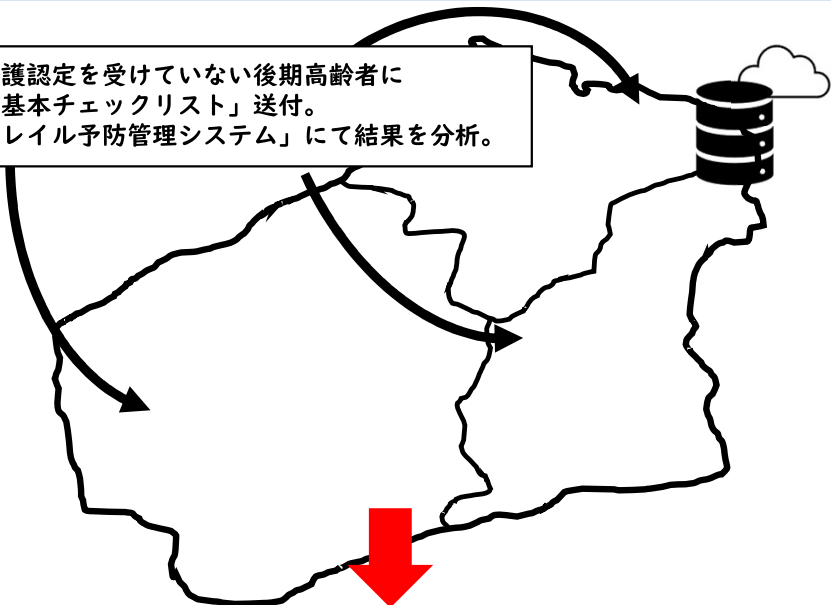
フレイルとは加齢に伴い心身の機能が衰えた状態であり、要介護状態の手前の段階といわれています。早期に適切な介入を行うことにより、健康な状態に戻ることができる点が特徴です。

令和7年1月時点での配布・回収状況

対象者：令和7年3月31日時点で75歳以上となる方の内、要介護認定を受けていない方。

配布数：5,876通 回収数：4,091通 回収率：69.6%

要介護認定を受けていない後期高齢者向け「基本チェックリスト」送付。
「フレイル予防管理システム」にて結果を分析。



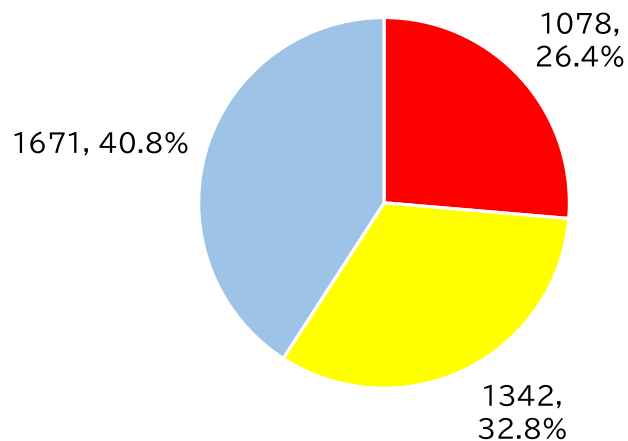
回答があった4,091名の内、令和7年1月時点での転居者等を除いた4,081名に対し「フレイル状態判定結果」及び「フレイル啓発チラシ」、「フレイル予防事業一覧表」を送付。

■調査結果（一部抜粋）

フレイル状態の割合

n=4,091

■フレイルの疑いあり ■プレフレイルの疑いあり ■どちらも可能性は低い

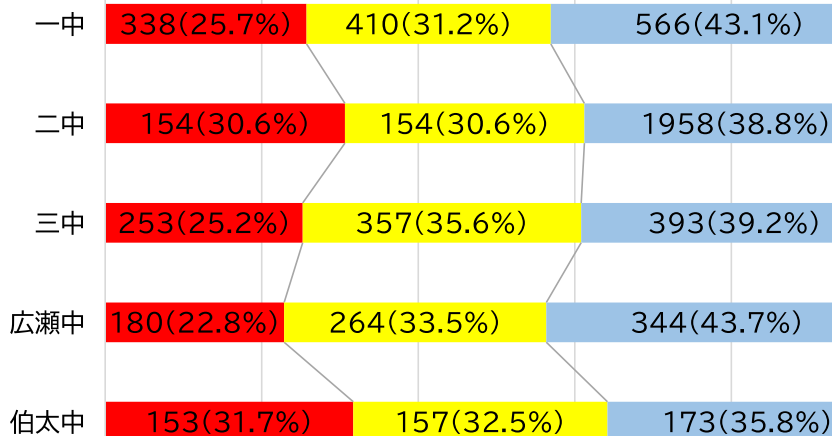


校区別 フレイル状態の割合

n=4,091

■フレイルの疑いあり ■プレフレイルの疑いあり ■どちらも可能性は低い

0% 20% 40% 60% 80% 100%



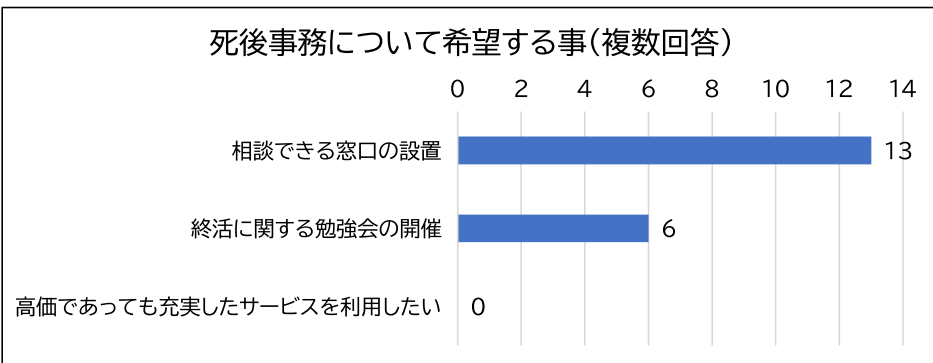
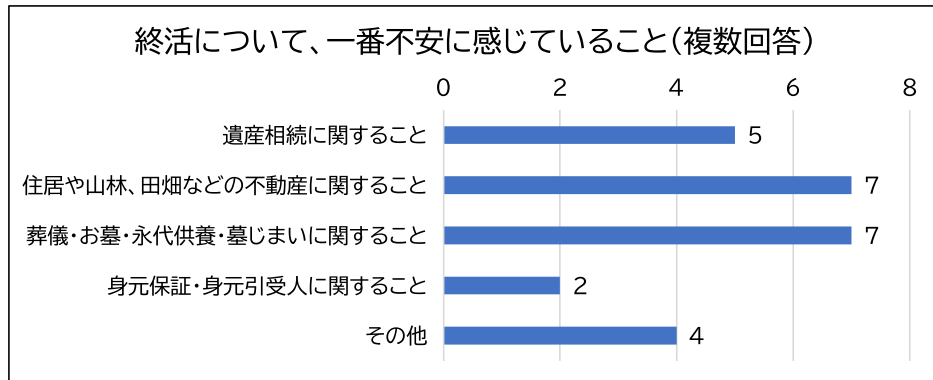
「はじめての終活セミナー」を開催しました

令和6年11月22日（金）に「はじめての終活セミナー」を開催し、19名の方にご参加いただきました。

一般社団法人日本ライフオーガナイザー協会 尾上今日子氏より「生前整理・遺品整理 死後事務手続きについて～残された家族が困らない7つのこと～」と題し、エンディングノートを活用する前の段階、事前知識として事例を交えご講演いただきました。



■アンケート集計結果（一部抜粋）



令和6年度 地域ケア推進会議を開催します

高齢者の健康寿命の延伸を図るため、介護予防・フレイル予防として「通いの場」への参加が推奨されています。

「通いの場」の創出に向け、誰もが住み慣れた、身近な地域における介護・フレイル予防の拡充やさらなるカタチについて考えることを目的に開催します。

■開催日 令和7年3月1日（土） 午後1時～4時

■会場 安来市総合文化ホール アルテピア(小ホール)

■参加者 200名

■講演 介護予防・フレイル予防に資する「通いの場」

その先にあるカタチ

株式会社日本能率協会総合研究所

福祉・医療・労働政策研究部

主幹研究員 服部 真治 氏

令和6年度 認知症講演会を開催します

「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行され、市民一人一人が相互に人格と個性を尊重し支え合いながら共生する社会づくりが推進されています。

本講演会では当事者の方の声を聴き、しあわせに暮らしていくための方法を考えます。

■開催日 令和7年3月15日（土） 午後1時～4時

■会場 安来市総合文化ホール アルテピア(小ホール)

■参加者 200名

■講演① 認知症とともに生きる

おれんじドア実行委員会

代表 丹野 智文 氏

■講演② 認知症になってからのセカンド・ストーリー

～私からあなたへ伝えたいこと～

一般社団法人セカンド・ストーリー

代表理事 山中 しのぶ 氏